



学校だより

横浜市立六つ川台小学校
令和元年6月28日

7月号

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>
E-mail:y3mutukd@edu.city.yokohama.jp

梅の実の香り

校長 滝本 俊一

今年は西日本よりも早く東日本が梅雨入りしましたが、比較的好天が続いていました。例年ですとプール開きをした後、しばらくはプールに入れないことが多いのですが、今年はプール開き初日、高学年がプール学習を実施できただけでなく、翌日から低学年、個別級、そして中学年と三日連続で水泳学習を実施することができ、早々に全学年がプールに入ることができました。プールから子どもたちの歓声が響き渡っています。

本校の敷地には、実のなる木がたくさんあります。毎年、実ったサクランボを子どもたちに配っているミザクラ、カキやクリ、ビワやカボス、ミカン、夏ミカン、アンズにザクロ、グミ、クワ、ウメ、キウイなど、本当に多くの木があります。今は、ウメ、ビワ、夏ミカンなどが実っています。実ったもの全てを子どもたちに配ることはできませんが、実が生ることで季節を感じるができるのは、本校の良さだと思います。

また、子どもたちも学年ごとにいろいろな草花、作物を育てています。最近では、朝、登校してきてランドセルを背負ったままの1年生や3年生が、自分たちで育てているアサガオやヒマワリの周りに集まっている姿が見られます。自分の植えた種が日々成長している様子を観察し、顔をほころばせています。

ある日、1年生の子が落ちていた梅の実を大切に持って私のところに来ました。そして、少し不安そうな顔をして「これ、おうちに持って帰ってもいいですか?」と聞いてきました。私が「いいですよ」と答えると、不安そうだったその子の顔が笑顔でいっぱいになりました。そのまま食べられるわけでも、何かに使えるわけでもなさそうなその梅の実を大切に持ち、自分のものにしていいといわれた時の喜び方に、そこまで…、と思いながらも、子どもらしいなと思っていました。するとある子が「校長先生、これ、とっても良い匂いがするんだよ」と言って私の前に持っていた梅の実をかざして、その匂いを嗅がせてくれました。梅の実の匂いを嗅いでみると、ほんのかすかではありましたが優しい香りがしました。「ね、良い匂いがするでしょ」と微笑みました。その子は、梅の実の放つほんのかすかな香りに惹かれ、大事そうに持っていたということがわかり、そのことが私の心をととても温かくしてくれました。

日々、子どもたちと接していく中で、子どもたち一人一人がもっている感性に気づくたび、驚きと喜びを感じます。そんな子どもたちが、安心して過ごしている学習環境・生活環境をつくり、保護者の皆様、地域の皆様と共に、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。今月もよろしくお願いたします。